

令和6年度滝沢市子ども・子育て会議 議事録

- 1 開催日時 令和6年6月26日(水) 14:00~14:53
- 2 開催場所 滝沢市役所2階大会議室
- 3 出席者 (委員)
三上礼奈委員、佐藤正和委員、高橋正俊委員、小笠原香委員、前田康夫委員、
上野綾子委員、工藤純世委員、水本真美委員、大塚健樹委員、日向磨机子委員
(市側出席者)
健康子ども部長 猿舘睦子
子ども家庭センター所長 滝田律子
子育て課長 藤島紀子
子育て課総括主査 阿部江利子
- 4 傍聴者 なし
- 5 議事
(1) 第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
(2) 第3期滝沢市子ども・子育て支援事業計画の策定及びニーズ調査報告について

会議経過

(会議に先立ち、委員委嘱の報告、出席者の紹介)

1. 開会

委員15名中10名の出席があり、滝沢市子ども・子育て会議設置条例第6条第2項により委員の半数以上の出席であることから、会議が成立することを宣言し開会。

2. 健康子ども部長挨拶

部長挨拶後、事務局より、資料の確認、会議の趣旨の説明、会議の公開等について説明し了承いただく。

3. 会長・副会長の互選について

・会長選任について部長が仮議長として進行。会長の選出方法について、委員からの自薦他薦はなく、事務局案を提示してほしい旨の発言あり。事務局から「大塚健樹委員」を案として提示。異議なしとの意見により、会長に「大塚健樹委員」が選出された。滝沢市子ども・子育て会議設置条例第5条第2項により、会長が議長と規定されていることから議事進行を大塚会長に代わることを宣言。(以後、会長が議長として進行。)

・副会長の選出について、委員からの自薦他薦はなく、事務局案を提示してほしい旨の発言あり。事務局から「小笠原香委員」を案として提示。異議なしとの意見により、副会長に「小笠原香委員」が選出された。

・議事録署名人の指名について、事務局案を提示してほしい旨の発言あり。事務局から「三上礼奈委員」及び「高橋正俊委員」を案として提示。異議なしとの意見により、議事録署名人に「三上礼奈委員」及び「高橋正俊委員」が指名された。

4. 議事

(1) 第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

会長：それでは早速議事の方に入らせていただきたいと思います。議題の(1)第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況についてということで、進めさせていただきたい

と思います。事務局の方からご説明よろしくお願ひいたします。

事務局：説明をさせていただきます。市町村子ども・子育て支援事業計画は、子ども・子育て支援法第 61 条に策定の義務づけられており、現行の第 2 期計画の計画期間は令和 2 年度から令和 6 年度までとなっております。施策の体系は、基本理念、子どもが安心して暮らせる環境作りに、三つの基本的視点、二つの基本目標、個別施策を設定しております。重点項目は、①多様な保育等の確保と、②地域子ども・子育て支援事業の充実です。今回、令和 5 年度分の達成状況について点検評価をまとめましたので、子ども・子育て会議でご意見をいただき、確定後に公表したいと考えております。

2 ページをご覧ください。こちら計画全体の成果を掲載しております。基本目標の取組指標の成果については、市が毎年実施しております滝沢地域社会に関するアンケート調査の結果となっております。基本目標 1 の指標については、33.3%であり、前年度と大きな変化はなく、基準値からは上昇しているものの、計画値には届いていない状況です。基本目標 2 の指標については 80.6%であり、前年度と大きな変化はないものの、基準値の 68.5%より大きく上昇しております。しかし、計画値には届いていない状況です。今後も各指標の成果の向上に寄与できるように努めてまいりたいと思います。

では、3 ページをご覧ください。ここからは、多様な保育等の確保に関してまとめています。市内施設の利用定員数については、令和 5 年 4 月に二つの私立保育園で合わせて 20 人増加があり、定員数が拡大されましたが、令和 6 年 3 月末になって私立保育所の分園が廃止したことから利用定員が 20 人減少しております。現時点では増減なしといった状況となっております。子どもの人数は減少傾向にあります。3 号認定の保育利用率は上昇しております。教育保育施設の運営法人のご協力のもと、保育所定員の弾力的運用が行われたことや、関係市町や当該保育所との協議により広域利用が進められたことから、令和 5 年 4 月の待機児童数は 16 人でしたが、今年 4 月は 5 人に減少いたしました。今後も、保育対策総合支援事業等により保育人材の確保を図り、引き続き利用定員の弾力的運用および広域利用を柔軟に活用して待機児童の解消に向けて取り組んでまいります。

次に 8 ページの方をご覧ください。ここからは、地域子ども・子育て支援事業の充実に関してまとめております。妊婦健康診査事業および乳児家庭全戸訪問事業については、少子化に伴い実績数が減少傾向にあります。地域子育て支援拠点事業については、実際のニーズが令和 4 年度と比較して伸びており、地域の子育て支援の中核的施設として子育ての情報提供、育児相談等の必要な支援を行いました。放課後児童健全育成事業については、低学年、高学年を合わせた全体の利用ニーズを満たしているものの、低学年の利用ニーズが高く、かつ利用児童数も増加傾向にあります。今後の需要動向等を注視しつつ、各事業を実施してまいります。以上で説明を終わります。

会 長：はい、ご説明ありがとうございます。今の説明に何か皆さんの方からご質問等ありましたらお受けしたいと思います。

委 員：10 ページの放課後児童健全育成事業に関してですが、この数字は全体数であり、各地域によっての特色があまり反映されていないように思ひまして人数に関して満たしているところがありますが、各地域地域の学童で、人数定員がだいぶ増加している、またはだいぶ少ないとの調査に関してお伺ひしたい。

会 長：施設ごとということですので事務局説明をお願いします。

事務局：評価の方は全体でまとめてましたが、計画書には学区ごとに出す指標等もございます。それから学童の各施設の状況につきましては、まず4月1日現在の登録者数は把握しておりますが、3ヶ月経った状態で日々の利用状況を確認することになっておりますので去年まではもちろん実績ございますが、今年度も3ヶ月経って、平日にどの程度利用しているかを把握しながら計画にどのように盛り込んでいくか検討していきたいなというところでは考えているところです。

会 長：ありがとうございます。よろしいですか。他にございましたらお願いいたします。

委 員：すいません、聞き漏らしをしてしまいました。小さい子どもたちの施設が一つ減ったと説明がありましたが、資料はどこになりますかね。

事務局：施設数としてではなく、実績として令和6年度4月において減っているのは姥屋敷の分園が閉鎖になったのが理由でございます。

委 員：それは何ページの説明になりますか。

事務局：施設数としては掲載しておりません。施設ごとの定員ということではなくて1号2号3号というふうに分かれているので、具体的にはその数字が見つらなくなっております。

委 員：はい、わかりました。

会 長：ありがとうございます。他にございましたらお願いいたします。事務局のほうで何か補足することはないですか。

事務局：ありません。

(2) 第3期滝沢市子ども・子育て支援事業計画の策定及びニーズ調査報告について

会 長：続きまして議事(2)第3期滝沢市子ども・子育て支援事業計画の策定及びニーズ調査報告について事務局の方から説明をお願いします。

事務局：説明させていただきます。資料は本日お配りいたしましたA4縦の左肩を綴じました第3期滝沢市子ども・子育て支援事業計画の策定およびニーズ調査報告についてをご覧ください。こちらの資料の1ページから3ページまでは、昨年7月に開催いたしました会議で配布したものです。本日は参考としてつけさせていただきました。1ページは計画の概要について記載しております。現在進めております第2期計画については、今年度が計画の最終年度となっております。今年度は令和7年度から5年間を計画期間とする第3期の計画を策定する年度となっております。2ページをご覧ください。こちらに計画策定までの流れと、ニーズ調査について記載されておりますが、ニーズ調査については、予定通り昨年度中に実施いたしまして、委員の皆様には調査報告書の概要版をお配りしております。概要版の報告書の1ページをご覧ください。1ページには調査の目的、対象、調査の方法などが載っております。この調査は、次期計画を策定するにあたり、地域住民の子育て支援に関する実態や意見・要望、今後の保育サービス等のニーズの把握などを主たる目的として実施いたしました。実施時期については、第2期計画策定時と同様に2月に行いました。調査の対象は、就学前児童の保護者と小学生の保護者で、郵送による配布回収を行いました。2ページをご覧ください。配布回収の結果がでございます。回収率については、就学前児童調査が45.2%小学校児童調査が49.2%であり、前回調査値は48.6%でしたので、ほぼ同じ程度の回収率となりました。ご協力いただきましてありがとうございました。では次に7ページをご覧ください。就学前児童調査の母親の就労状況について載っております。

す。母親の現在の就労状況は、フルタイムで就労しているが44.0%、フルタイムで就労しているが産休育休、介護休業中である10.9%を合わせた54.9%がフルタイムでの就労となっています。前回の調査においては、フルタイムの就労は39.8%でしたので、前回よりも増加しております。次に14ページをご覧ください。こちら定期的な教育保育事業の利用状況について載っております。こちらでは、平日の定期的な教育保育事業の利用状況は、利用しているが75.2%利用していないが20.3%となっています。前回調査においては、利用しているが72.7%となっており、利用率が上がっていることがわかります。その他の調査項目については後ほどご覧いただければと思います。

資料また元のものに戻っていただいてA4縦の左肩を綴じた資料の4ページをご覧ください。ここからは新たに調整した資料となります。子ども・子育て支援事業計画への記載事項をまとめております。子ども・子育て支援事業計画には、国が定める必須記載事項と任意記載事項がありますが、本市では、第2期計画において必須記載事項、任意記載事項ともに全て反映されています。次期計画において現状と課題を整理するとともに、基本的には全て記載していく方針にしたいと考えております。6ページをご覧ください。計画に記載する具体的な内容について定める基本指針の改正がありましたので、こちらに概要を記載しております。追加された事項を確認の上、策定作業を進めてまいりたいと考えております。今年度、計画策定事業を進めますが、この策定に伴う一連の作業について業務委託することといたしました。本日委託先であるケイカラボ株式会社様にもご出席いただいております。では、7ページをご覧ください。今後のスケジュールとしては、7月をめぐりに見込み量の算出を行い、8月から10月にかけて骨子案、素案をまとめます。10月末頃の第2回子ども・子育て会議において素案についてご説明をさせていただき、その後パブリックコメントを行います。年が明けましたら、案をまとめまして、1月末頃に第3回子ども・子育て会議において、パブリックコメントの報告と、計画案の説明をさせていただく予定です。次に8ページをご覧ください。ここからの資料は委託業者さんにまとめていただいたもので、女性の就労状況や出生数の推移等の統計資料となっております。今後、ニーズ調査結果の整理や量の見込み等を行い、素案を検討してまいります。以上で説明を終わります。

会長：ありがとうございました。以上、計画の策定に当たりまして基本方針等が説明されましたけれども皆さんからご質問あればお受けします。何か質問とかご意見も含めてございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員：発言なし)

会長：よろしいですか。はい。それではこれで質疑については終了させていただきます。以上で本日の議事の方は終了しました。議事運営にご協力いただきましてありがとうございました。

事務局：大塚会長ありがとうございました。委員の皆様ご質問等いただきありがとうございました。

5. その他

事務局：それでは次第の5その他に入ります。

委員：子ども・子育て会議は私2年目になりますが、1年目のときに出席させていただいた会議の中で、例えば就学前健診、就学时検診について、回数がもうちょっと欲しいだとか、あとは入る前ですとか、その学童に入る方々などが情報共有をさせていただきたいというふうな話も出てたとは思いますが、それに関しての部分が、特にこの会議中でどういうふうに話をしていくのか進めていくのか、もしくはこの会議ではできる話ではないのかどうなのか。結局その部分はですね、特に何も触れられないまま進んでいるような気がしております、もう長年携わってらっしゃる会長さんもこの話に関してはご存知と思うのですが、滝沢市においてその検査の回数をどう考えていくのか。あとはその小学校に上がる前、保育園幼稚園さん、認定こども園さんからその情報をどう共有していくのか。そういった情報をどのように扱っていくのかを揉んでいく必要があると私は思っております、それが子ども・子育てという名称になっていくとは思いますが、会長、この部分に関してどうお考えかお聞かせいただきたいです。

会長：前回の会議でそのようなご意見があったと承知しております。その中で確か、滝沢市でもちょっと部局間で検討してみるとご回答があったように記憶しておりますけれども、その件につきまして何か進んだといいますか、協議とかってというのはあったんでしょうか。

事務局：まず前回の会議で出た話としては、まず5歳児健診ですが、要は、3歳児健診で終わるので、就学前までに健診があればよいのではと、小児科の山口委員からご発言いただいたと思っております。それからその情報共有できればという点についてはご意見はその通りだとは思いますが、今の2点両方ですけど、この子ども・子育て会議の審議内容として規定される審議内容としては違うのかなと思っているところです。ただ子育て環境へのご意見・ご要望とか、そういう意味ではご発言をいただいて市がどうするかというのを考えていくべきだと思います。健診については、こども家庭センターからお話しします。

事務局：ご質問をありがとうございます。私は昨年度参加しておりませんでしたので、そういうお話が出てたことを今理解しました。それで就学前の就学时検診より前で、3歳児健診より後の、この間のところですね。5歳児健診ということで、国の方でも実施していきましようという方向性で、いろいろとマニュアルとかも国が令和6年4月に作成して、今届いております。市としても、やはりその就学前の健診は将来にもわたって、発達障害の方などは特に重大な時期とか大事な健診であると思っておりますので、今後研究をしながら実施の方向で考えていこうということで部内でも話を始めたところです。こども家庭センターで健診は担当になりますが、5歳児健診につきましては、保育園さんとか幼稚園さんとか、教育委員会さんとか全体を巻き込んだものになると思っておりますので、今後もお話させていただければと思います。

委員：ありがとうございます。今教育委員会を巻き込んでというお話があった通りですが、私も今日PTAの立場としてお邪魔してるわけなのでできればその垣根を越えて、支援学級も増えている状況でございますので、その子ども1人1人がご自身のペースで成長できるような環境を増やしていければと思います。ここで話すことではないと思うのですが、その他でお話させていただきました。垣根が高くなっていうふうに思っておりますので、ぜひこういったところでも話を進めながら、またこの件を話すのに適切な場所がどこなのかというのも教えていただければありがたいかなと思っております。

事務局：子どもは場所や場面によって見せる姿が違うと思います。前の保育園さんではできてた、

保育園ではいい子だったのに、学校に行ったら、はみ出すと言われて、それでも前の情報を知りたいってことです。その場所その場面で対応していくというのもみんなで考えれば、もう少し対応が違ってくるのではないかなって、事前の情報というところだけじゃないかなというのは感じて、何か少しずつでも良い方向になっていけばいいのかなというのは感じます。他に何かご意見ありますか。

委員：この情報の公開の時期はいつぐらいになりますか。ホームページへの掲載の時期です。

事務局：本日の会議で使用した資料については、来週中を目処に公開したいと思います。議事録については署名をいただきますので、もう少しお時間を頂戴したいと思います。

委員：滝沢市は今後何年間のところで消滅していくとかっていう自治体ではなくって、女性の出生率で見てもまだ将来は全県の中では明るい地域なのかなとお聞きしましたが、市長さんが新しくなられて市長さんのいろんなおっしゃったことの中に「こどもまんなか」って言葉がいろいろ出てきていらっしゃいます。私達としては本当に幼稚園保育園の立場としてもありがたいことと、とても期待をさせていただいておりますが、この第3期の計画の中に、市長さんならではの何か盛り込まれると嬉しいなと思っておりますけれども、今の段階でそういうような新しいものとか、今までになかった子どものための政策は、ありますか。

事務局：今お話しできる新たな政策はありませんが、今後市長のお話等は聞いてみたいと思います。ただ基本的に計画自体はある程度国で定められた基準の計画ですので、それを実施するに当たって滝沢市の独自性とか何か施策をやっていくかというところはあると思います。

委員：ありがとうございます。とても楽しみだなと思います。もう一つなんですけれども、ここでお話することわかりませんが、どこで話せばいいかわからなくてちょっと言わせていただきたいのですが、私は、5年前に第2期の計画が出たときにもここに参加させてもらっています。その当時と比べるとかなりのスピードで子どもの人数が減ってきている現状があると思います。あとは同じように、思い掛けなく、これほどだったのかってのが保育園あるいは学校現場、あるいは児童センターとかに関わる職員のなり手が無いというすごく深刻な状況が今ございます。そういう中で、私達就学前もそれから学校さんも児童センターさんも、いない職員の中で本当に必死になってやっているっていう状況があります。新しく向かいのところにできる大きなモールの中には保育園もできると聞いていますが、やはり小さい子どもたちの施設が、定員余っているっていう状況ですし、保育士もそうやって求めるのが大変な時代になっていて、資質向上も本当に必要なことですが、全く反対の状況になっているっていうところ、そういったあたりをお聞きいただきたいなと思って今日は参りました。この業界に関わらずいろんなところで人手不足っていうのはあると思いますけれども、そういう中で、新しい保育園ができて、子どもも職員もいない中で、ゆるくないなっていう事業所が今、市内でも先生方、私の間ではたくさん出ている。そういう状況があります。ぜひお聞きいただければと思います。

事務局：ご意見につきましては庁内でも共有したいと思います。他にございますでしょうか。

会長：養成校として少しお話させていただきます。委員からもありましたように、保育士を養成しておりますけれども、本年も本当に減っております。3年前にうちが100名ぐらいいたのですが、その次の年が78名、今の1年生が52名。岩手県で今年の1年生の数をみる

と、うちが 52 名、それから北上市と一関市に養成校があつて、それを足したら 170 名から 180 名というような人数になっておりました。これは 3 年前ですと 300 名とかですね、そういう数字でしたので本当に保育士のなり手が少ないということで我々もいろいろ努力はしております。減っている理由がコロナ禍の一時的なものなのかはわかりません。いろいろな統計見てみますと、小学生、中学生の将来になりたい職業について、保育士は結構上位にくるんですけども、高校あたりで変わってくるのか、理系への進学が多くなっていて、保育士などの文系への進学は少なくなっているというのもあるかと思えますけれども、滝沢市さんの見学ツアーとかでいろんな試みされてます。ぜひ現場の保育園さん幼稚園さんをお願いしたいんですけど、学生と面談していると、中学校あたりの職場体験で保育士になってみたいと思ったと受け答えされることが結構あるものですから、この数年、職場体験はコロナ禍でできなかったと思いますので、ぜひ中学生あたりをターゲットにそういう職場体験とかしていただいて、児童館とかそういう子どもと関わるような体験を小中あたりでやっていただくと、また少し長い目で見ると回復してくるのかなと思っておりますので、ぜひご協力よろしくお願ひしたいと思ひます。

事務局：大塚会長ありがとうございました。私どもでは 3 年前から盛岡大学さんの協力のもと、保育士確保のために学生向けの市内保育施設を見学するバスツアーを開催させていただいておまして、就職にも繋がっているということでした。今年も引き続き 7 月 30 日に実施させていただきますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。それでは次回の会議につきましては、令和 6 年 10 月頃を予定しております。詳細日程につきましてはまた改めてスケジュール調整させていただきますので、ご案内させていただきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。事務局からは以上となります。

6 閉会

会議の一切を終了。

議事録署名委員

議事録署名委員